

公益財団法人かすがい市民文化財団広報誌

# FORUM PRESS

春日井の“毎日”を、もっと楽しく！



新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行い、写真撮影をしました。

2021.10-12月

## Contents

文化や芸術の情報をお届け！

◆居心地がいいからアートが生まれる 滋賀県の障がい者施設・やまなみ工房の営み

VOL. 104



生  
ま  
れ  
る  
ア  
ー  
ト  
が  
居  
心  
地  
が  
あ  
ら  
る

滋賀県の障がい者施設・  
やまなみ工房の営み

FORUM PRESSは  
みんなの笑顔が  
あふれる広場  
のような広報誌を目指します。

01 特集  
滋賀県の障がい者施設・やまなみ工房の営み  
**居心地がいいから  
アートが生まれる**

撮影=トロロスタジオ  
取材・テキスト=三宅 有、山川 愛

08 子どもと楽しむ! KIDS★PRESS 04

[今回のテーマ]牛乳パックで作るマフラー  
今号の先生=岩田正子(編み物作家)

10 プロデューサー小松淳子のこのマンガを読め!!

読書の秋だからこそ、挑みたい文豪作品を紹介!

11 聴き書き自分史“もの”語り 大切なもの、教えてください。

小松原康平さんのラグビージャーナル  
取材・テキスト=芳賀倫子(日本自分史センター相談員)  
語り手=小松原康平(中日新聞社会部記者)

12 みんなのひろば 04

人形劇団パン代表 近藤輝行さん

13 わたしのアトリエ

第70回記念春日井市民美術展覧会の作品紹介  
日本画部門 市長賞 山本史歩子さん

14 公演レポート

朗読劇 この子たちの夏1945・ヒロシマ ナガサキ  
市民レポーターが公演の様子をレポート!  
担当スタッフが語る“よもやまばなし”も。

15 インフォメーション

16 あのひと、春日井と  
**春日井児童合唱団**

取材・テキスト=山川 愛

今号の表紙



[モデル]  
春日井児童合唱団  
[撮影]  
トロロスタジオ

居心地がいいから  
アートが生まれる

# こんなことやって、どうするの？でも、誰が何と言おうと一番やりたいたいことをやる



やまなみ工房 施設長  
やました まさと  
山下完和さん



「見て、見て〜！」声をかけられ、大きな机を覗く。「面白いなあ」「すごいなあ」その言葉に喜ぶ利用者たち。私たちのような日常にはいない取材スタッフやカメラマンに躊躇なく声をかけてくれる利用者もいれば、カメラ目線でポーズを決めてくる男性も、人のことは全く無視してマイペースに筆を走らせる人もいます。

アート作品が創りたい人を集めたのではなく、利用者は全員、近隣に住む人たちばかり。

「施設をアート化するつもりも、施設にアートを取り入れる考えもありませんでした。彼らが言葉や態度で、ありのままの自分を表現し、楽しく過ごすことが重要なだけ」と話すのは、施設長の山下完和さん。約30年前、障がい者の経済的自立を目的として、工場の下請け作業などをしてきた施設から、今の創作活動中心の施設へ舵を切った当事者です。きっかけは一人の利用者が、昼休みにメモ用紙に鉛筆で何かを描いている時の表情でした。「見たことのない生き生きとした姿」。そこから山下さんの取り組みが始まります。

## 利用者たちの隣にいる、17人のスタッフの存在

午前10時、スタッフが運転するマイクロバスが続々と到着する。否や、約90人の利用者たちは工房内の思い思いの場所へ向かいます。やまなみ工房には利用者の個性に沿った6つのスペースがあります。粘土や絵画を制作する「アトリエころぼっくり」では、恐竜のデザイン画をマーカーで描く人、こぶしを握るようにペンを持ちフリーハンドで美しいカリグラフィーのような文字を書く人など、7〜8人が机に向かっていました。隣には、ソファでいびきをかいて寝ている人もいます。



昨年から入所した朱里さん。スタッフと一緒に頭巾をかぶると、創作モードに入ります。

## 計算も勉強もできなくても 素敵な絵を描ける人

榎本朱里<sup>えののもと あかり</sup>さんは、絵の具をしみ込ませた絵筆を振って、その飛沫で着色するドリッピングのように、真っ白な紙に次々と色を重ねていきます。「次は何色がいい?」「黄色〜!」スタッフが絵の具を用意する前から、ベタベタと塗り、時にポタポタと色を落とす朱里さん。一つ一つの行為のたびに、スタッフに満面の笑顔を向けます。

「隣にいるスタッフによって、色合いや塗り方が違うらしいんですよ」。朱里さんのように、スタッフとのコミュニケーションで絵を描く人もいれば、作ることに集中していく人、とにかく人と関わりたくて好きな人もいます。そんな中、スタッフは常に傍にいて、利用者<sup>りよう</sup>のことを観察。しかし作品には手出しもしなければ、アドバイスもしません。相手がどうすれば嬉しいのか、そのことだけを考え、動いています。相手の気持ちを读み、その場で空気を整えるような存在感。そんなスタッフた





## 居心地が いいから アートが 生まれる

やまなみ工房敷地内の中央に立つ  
アートセンター2FのアトリエB-CHIC。  
利用者の特性によって机の大きさや  
配置などが決められています。

ければ、彼らは表現どころか、安心して毎日を過ごすこともできないでしょう」と山下さんはスタッフを称えます。

### あなたは

### あなたのままでいい

そしてスタッフの中では、明確なルールが3つだけあると言います。

- ①ものを大事にする
- ②嬉しい・美しい言葉で過ごす
- ③お互いの悪口を絶対に言わない

「全て、利用者から教わったことです。彼らは、できないことを悔やまないし、褒められなくても常に

自分でいられる。人の得意なことを把握していて、相手が嫌がることは絶対しない。彼らは人格者です。だからスタッフも利用者と同じように、そのままの自分が役立てばいいんです。得意なヨガや音楽、料理を生かせばいい。資格だっ  
て持つてなくてもいい。必要とされることって、幸せじゃないですか」と、山下さんは敬意を込めます。  
こうしたスタッフがいる環境で生み出された作品たちは、徐々に社会の知るところとなり、国内だけに留まらず、海外で高い評価を得ています。もちろん、障がい者の作品だからではなく、純粋なアート作品として。

このことを利用者たちは「大好き！」と臆面なく言います。

### 創作経験のない

### スタッフたちが

### 彼らの可能性を引き出す

「目の前の相手に向かって、好きだっ、普段から言えますか？ 実は僕たち健常者の方が素直に言えなかったりするでしょ。スタッフだって利用者に言われて面食らうかもしれないが、嫌な気持ちにはなりませんよね」と、山下さん。

やまなみ工房で働くスタッフには、芸術や美術を専門的に学んだ人はいません。「自由な創作活動に打ち込めるよう、大きな机を配置したり、必要な画材を用意するための工夫は行っていますが、創作だけを第一に考えているわけではありません。私たちが大切にしているのは、ありのままの彼らを受け入れる環境を作ること。それを実践してくれるスタッフの存在がな

### 給食だって、大事

さて、お話を伺っていたら、お昼になりました。給食は毎日、施設内の厨房で手作りされています。約100人分の給食を作るスタッフは3人。通常は朝8時過ぎから調理に取り掛かりますが、時には前日仕込みを行うことも。調理スタッフで栄養士の村上結香<sup>むしかみ</sup>さんは「鶏のから揚げやハンバーグなど人気メニューの時は、バスから降りて、厨房に直行してくる利用者さんもいます。施設へ来る楽しみの一つに思ってくれているようで」とやりがいを感じています。「偏食傾向の強い人も多いので、野菜などは温野菜にするなどの工夫もします。直前まで何が出てくるか明かさないと、楽しみ給食も月に一回取り入れています」「完食も嬉しいですが、なにより喜んで食べてくれる顔を見られるのが励みなんです」と腕を振るっています。



## 対等な関係性が 当たり前の場所 施設を積極的に「開く」

作品の認知度が上がるにつれ、やまなみ工房を訪れる人は増えていきます。敷地内の「Gallery outgof」には、4年間で1万を超える人が訪れるようになりました。しかし、山下さんは現状をこう見えています。

「障がい者を差別する人は多くないのに、施設の外へ出ると、彼らには理不尽なことが多くあります。大きい声を出すと、可哀そうな人たち、という目で見られたりね。そういう、間違った見方やイメージが定着していて、障がいという言葉葉自体が、不安を生み出すものになっている。だから僕の役割は、彼らと素敵を伝えること。その機会の一つが作品を見てもらうことなので、展示会の作品運搬のためにハンドルを握ります。僕ができることは運転なので」



また、やまなみ工房の敷地の中央に、昨年、4階建てのアートセンターがオープンしました。4階はダンスや映画鑑賞、ライブなどでもできる多目的スタジオ。2、3階はアートスタジオ。利用者同士が互いの顔や作品を見ながら、つながりを感じて制作できる六角形の大机と、個別に集中する一人用の机が並ぶスペースに分かれています。



居心地が  
いいから  
アートが  
生まれる

す。そして、1階には、地域住民や来訪者が利用できる「CAFÉ DEBESSO」があり、地元食材を使ったカレーやハンバーガーなどが楽しめます。「利用者」とスタッフだけの場所ではなくて、地域の人やいろんな人が立ち寄れる場所にしたいです。障がい者施設は、閉鎖的、近寄りたがたいというイメージが強いかもしれませんが、でも、実際に

ある展示会に、約30人ほどの団体が訪れました。ワイワイがやがや楽しそうなので、山下さんは彼らに声を掛けたそうです。しかし、どれほど懸命に話しても相手にしてもらえませんでした。彼らをよく見ると、手でコミュニケーションを取る、耳が不自由な方たちでした。「僕一人だけが話せる障がい者」でした。数の多少で見えなくなるこがある。凝り固まった心、目を疑わないと。自分の普通と違うだけ」だと実感したといいます。

また、山下さんがやまなみ工房で働き始めた約30年前から、一緒に過ごしてきた利用者の一人に、山際正己やまざき まさみさんがいます。正己さんは毎朝バスから降りてくると小走り



取材の日、古紙回収が終わるや否やすぐに地蔵を作り始めた正己さん。「今がシャッターチャンスです!」と言われ、慌ててアトリエに。

りも、誰から頼まれたわけでもありません。「彼はね、利用者・スタッフ全員の誕生日を記憶していて、朝、お祝いの歌を歌ってくれるんですよ。正己は、僕がどんなに苦境に

ようと、辛い目に遭おうと、僕の誕生日には歌を歌ってくれる。それがどんなに幸せなことか」

最後に山下さんに、やまなみ工房がこれから目指すところを伺ってみました。やや困ったような表情で「ビジョンとかなくて。利用者やスタッフを

びつくりさせるにはどうしたらいいかってことばかり考えてます。明日も会いたい人がいて、明日も行きたいと思える場所でありたいです」と話してくれました。

また、それが正己地蔵。一日数十分だけ、いつ始めるか、いつ終わるかわからない。でも30年間毎日作り、これまで5万体制以上作ってきたといます。段ボール集めも、地蔵作

### 展覧会情報

## THIS IS YAMANAMI!

毎日をつくる、やまなみ工房の人々

11.27土-12.19日 無料

@文化フォーラム春日井・ギャラリー



関連企画 やまなみ工房 山下完和施設長 講演会

「すべては幸せを感じるために～やまなみ物語～」

12.18 (土) @文化フォーラム春日井 会議室 要申し込み

障がい者週間 12.3～12.9 障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化その他のあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とした週間



# 子どもと楽しむ!

KIDS★PRESS 04

今回のテーマ

牛乳パックで作るマフラー

今号の共生

岩田 正子

春日井市在住  
編み物作家



編み物の文化は、実はとても古い歴史があり、旧石器時代にまでさかのぼるとも言われています! それほど、人間にとっては、なじみの深い“編み物”。まずは、簡単にできる身近なものから始めてみましょう!



## 4 両端を結んで完成!!

編み進めると、牛乳パックの下に編みあがった毛糸が下がってくるので、最初に箱の内側に固定した毛糸を引っ張って編み始めの部分を細くまとめます。さらに編んで毛糸の残りが少なくなったら、編み機から外して編み始めと同じように引っ張って細くまとめて、近くの編み目に通して結んで完成です!



### たわし

マフラーと同じように編んだものを幅約3cmの厚紙に巻き付けてから厚紙を抜きます。両端の毛糸を縛って形を整えます。アクリルの糸がおすすめです。



お風呂掃除などで活躍するよ!!

### 座布団

長めに編んだマフラーを先端から丸めながら別の糸で縫い合わせます。マフラーの色と違う毛糸を使うとアクセントになってかわいく仕上がります。



### シュシュ

たわしと同じ方法で5つの花びらを作り、中心にビーズなどの飾りを付けます。裏返して両端の毛糸を結ぶ時に、髪ゴムも一緒に本体に結びつけるとシュシュに。



## 材料と道具

- 毛糸(1玉).....目安:長さ40~50mくらい
- 牛乳パック.....切った時、高さは約11cm程度必要。
- はさみ.....小さい子は大人の人といっしょにやりましょう!



## 1 牛乳パックで編み機を作る

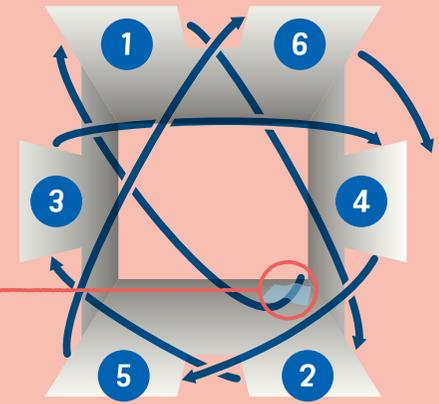


底を抜いて筒状にした牛乳パックを高さ約11cmに切り、それに高さ約3cm、幅約2cmの凸凹を6個作ります。これで編み機は完成!

## 2 編み機に毛糸をセットする

編み機の内側に上から毛糸を通して、編み機の下の方に固定したら、図のような順番で凸部分に巻いていきます。

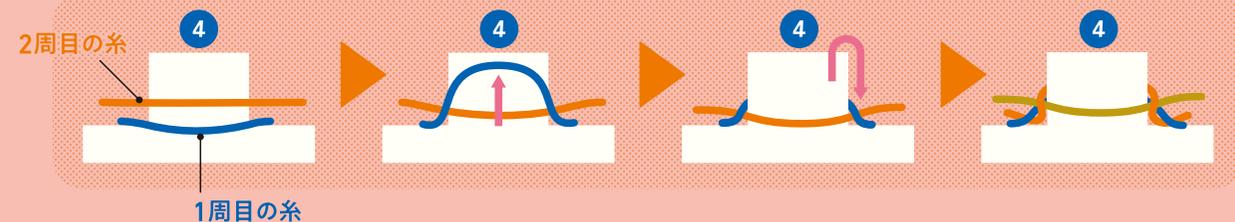
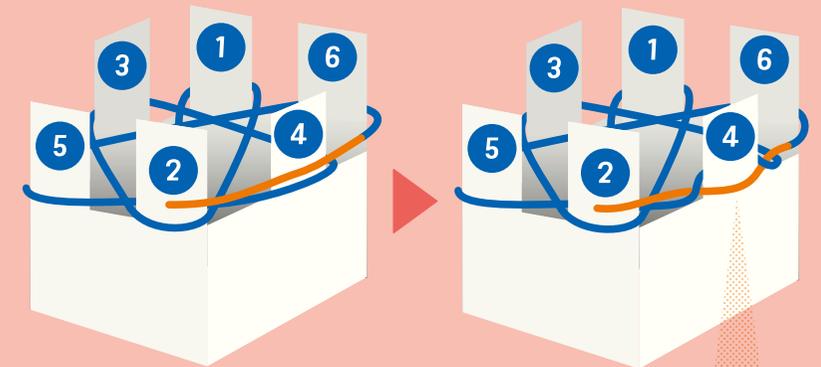
スタートはどの角でもOK!



スタート部分をセロテープで止めるとやりやすいよ!

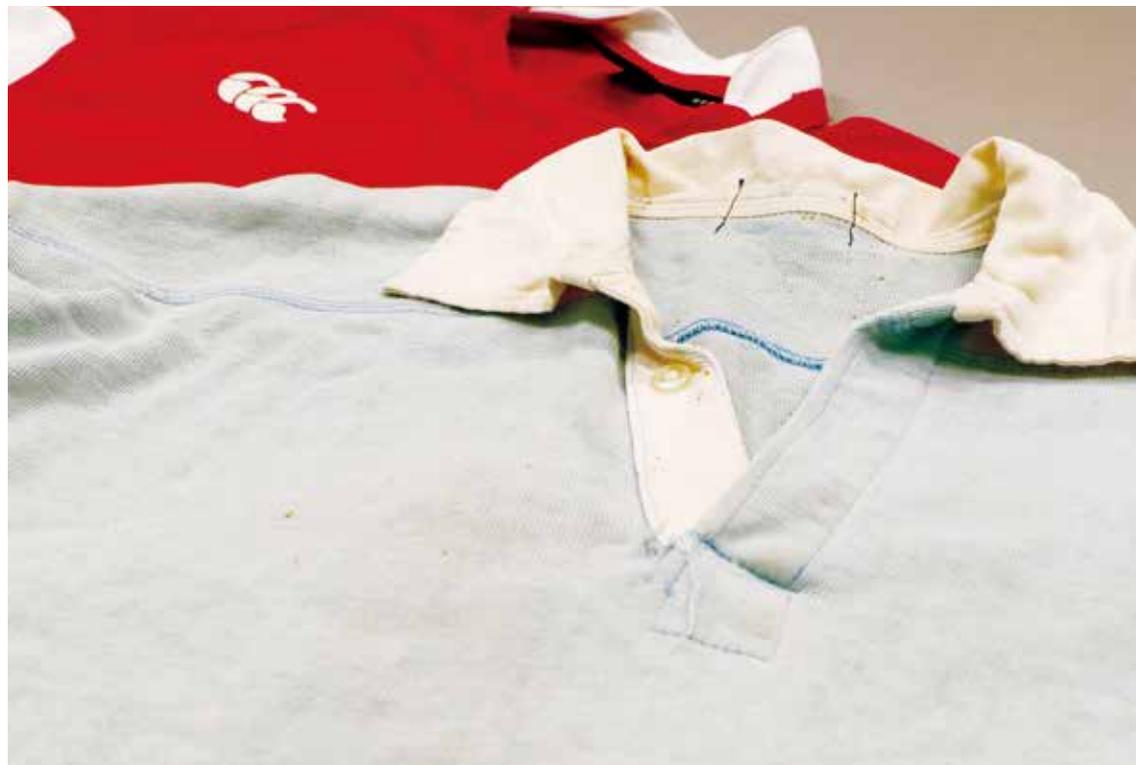
## 3 編んでいく リリアン編み

1周目の毛糸が2周目の毛糸の上を越すようにして凸部分の向こうへかけます。この作業を繰り返しながら、周回していきます。



# “もの”語り

#04



# ラグビー ジャージ

取材・テキスト  
芳賀 倫子 (日本自分史センター相談員)

語り手  
小松原 康平 (中日新聞社会部記者)

聴き書き自分史  
とは？

語り手の話に耳を傾け、  
本人に代わって書く自分史です。

芳賀先生の自分史相談

無料 要予約



毎週火曜日 13:00~17:00  
文化フォーラム春日井にて

高校から始めたラグビーですが、1年生の冬にはキャプテンを任されました。個性的な集団をうまく纏められず、青春真っ只中にして、胃薬のお世話になったものです。大学でも体育会ラグビー部に所属しました。大学のセカンドジャージは、ブルーが剥げて灰色になり、あちこちほつれてヨレヨレに。その上、木綿製なので雨が降れば、水を含んで重くなります。現在のジャージはポリエステル製で軽くて機能的ですが、やっぱりオールドスタイルのこのジャージが馴染み深いですね。定年過ぎの現在も、高校の仲間で作ったクラブチームで練習を重ねており、年に数回はこれを着て走っています。冬は暖かいし、まだまだ手放せません。ラグビーの良さは、規則づくめの日常も、試合で一気に解放できる場所。かといって、適度な緊張感も必要で、この「解放感」と「緊張感」が醍醐味です。ラグビーを通じて出会った人は一生の宝ですが、傍らにはいつもこのジャージがありました。

小松原さんが講師! **新聞記事で学ぶ文章講座**

2021.12.4(土)11(土)18(土)

各10:00-12:00 @文化フォーラム春日井・会議室 受講受付終了しています

# このマンガを 読め!!

KONO MANGA WO YOME!!  
BY KOMATSU P



今号のテーマは  
「文豪に触れる」

読書の秋だからこそ、  
挑みたい文豪作品を  
ご紹介します。

## 男の作法

不変の価値観を令和の時代に

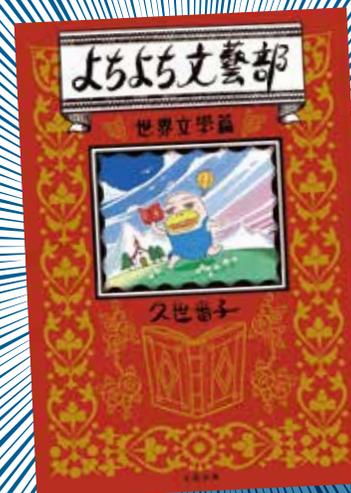
『剣客商売』『鬼平犯科帳』など、数多くの時代小説等を世に生み出した池波正太郎の大ヒットエッセイを漫画化した作品です。昭和55年のエッセイをなぜ今の時代に漫画化?と思うのですが、先の見えない不安な時勢に、どっしりと芯の通った巨匠の美学に触れることで、心がグツと安定する、そんな気持ちになるからかもしれません。漫画は池波正太郎を知る入り口として。興味を持ったなら、ぜひ原作もお読みください(春日井市図書館でも借りられます)。初めて入る寿司屋の見極め方、天ぷら屋でのマナー、家の建て方等、人生で役立つ情報も満載。そして読み終わった後、無性にすき焼きが食べたくなります…。



◎原作 = 池波正太郎  
漫画 = なかしまりお  
/ 日本文芸社

KONO MANGA WO YOME!!

## よちよち文藝部 世界文學篇



© 久世番子 / 文藝春秋

世界の文豪の作品に挑む!

おそらく多くの人が題名は知っているけれど読んだことが無いのでは、という文豪の名作を紹介する「よちよち文藝部」。「モンテ・クリスト伯」、「罪と罰」などに久世先生が挑み、その内容を紹介してくれます。久世先生は面白いところ、わからないところを正直に描いてくれるので、その本を読んだことがある人にとっても共感できるのがポイントです。カタカナ名が覚えられないことで挫折しがちな海外文学ですが、ベストセラーになった『カラマーゾフの兄弟』の訳者・亀山先生の逸話で、どの訳書と出合うかが重要、ということがよくわかります。既刊の日本近代文学篇もおススメです。秋の夜長、あなたも名作に挑んでみませんか?



わたしの  
アトリエ

第70回記念春日井市民美術展覧会の作品紹介



しほこ  
山本史歩子

今年、市民展の日本画部門で市長賞を受賞。大学3年生、日本画コース専攻。春日井市在住。

タイトル

「ななこ」

「興味関心のまま描いた絵が認められたうえに、多くの人に見てもらえるなんて」と喜ぶ山本さん。「『ななこ』は、花屋のバイト仲間。短大を卒業する彼女と会えなくなる寂しさとそれまでの楽しい時間を思い起こして、いつも花に囲まれていた彼女を描きました。少ない時でも週12時間以上描き、約3か月で一気に仕上げました」  
高校時代は剣道部。絵を習うことはなかったそうです。「好んで美術館には行きました。平面なのに立体感を表現する漫画の絵にも興味があります」。大学で日本画を選んだのは「表現の自由度が高く、岩絵具がキラキラ輝いて宝石のように見えた」から。「日本画を始めて間もないので、私にとって制作は未開の地を開拓する冒険。来年も自然体で出品できたらいいなと思っています」

【お知らせ】

市民展担当スタッフ  
三上俊希

コロナ禍での制作は、ご苦労も多かったと思いますが、奮って出品いただき、ありがとうございました。今回は、新規出品の方が前年より25人増え、81人いらっしゃいました。また、10~20代の若い世代の増加が目立った一方、70~80代の方の出品も例年通り多く、幅広い世代から力作が寄せられました。次回も、さらに多くの方からの出品をお持ちしています！（第71回市民展は、7月作品募集 / 8月展示予定です）

ENJOY! FORUM

みんなの  
ひろば  
04の

KONDO  
TERUYUKI



文化フォーラム春日井や  
春日井市民会館は、  
春日井の文化をつむぐ  
「みんなのひろば」です。  
そんな「みんなのひろば」に  
集う人々を紹介します！

春日井市を拠点に活動するプロ人形劇団 /

人形劇団パン代表

近藤輝行さん

待っていてくれる  
子どもたちの笑顔が原動力

主に東海三県の幼稚園や保育園を巡回し、「三匹のこぶた」「ジャックと豆の木」など、子ども向け作品を上演。全国各地のイベントを含めると、多いときは年間300回を超えるステージを届けてきました。劇中、子どもたちが人形と一緒に笑ったり、泣いたり、声援を送ったりできるように、間々々々することを大切にしているそうです。

来年、創立40周年を迎えますが、2015年には近藤さんが脳出血で倒れ、劇団の活動は半年ほど休止、スタッフたちは退団を余儀なくされました。医師から「車いすでの生活になる」と言われた近藤さんですが、落ち込むどころか、「ベッドの上で舞台を載せた自動車、いわばパペットカーを思い浮かべました。実現まで6年かかりましたが、屋外で上演でき、コロナ対策にもなっています。これで行きまよ」と意気盛ん。「人形が動くこと、子どもたちは命を感じ取り、想像力が無限に広がる。その時の輝く表情が大好き」と優しい眼差しを向けています。



照明や音響など舞台設備の整ったパペットカー

近藤さんからのお知らせ

かすがい  
人形劇フェスティバル2021

@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール、交流アトリウム  
2021年12月12日(日)  
午前の部 10:00~ 午後の部 14:00~(開場は15分前)



文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

人形劇フェスティバルが行われる視聴覚ホールは、コンサートなど多様なジャンルの利用に対応する多目的ホール。客席(全198席)は収納でき、広いフロアとして使用するなど様々なレイアウトが可能。全照明LEDで、鮮明に舞台を彩ります。





夜コン Special Concert  
繋ぎ、奏でる ～六弦の世界～



アコースティックギター1本でメロディ、伴奏、リズムを同時に弾く超絶テクニックのソロギタリスト・井草聖二さん。「ルパン三世のテーマ」(大野雄二)、「STAR WARS Theme」(ジョン・ウィリアムズ)ほか、ニューアルバムからオリジナル曲を演奏予定。

2021.11.26(金) 19:00～  
@春日井市民会館



12.18(土) 出演! 杉山大祐(津軽三味線)、近藤一輝(キーボード)

昼コン 開催中!!

幅広い年代の方に、様々なジャンルの音楽を気軽に楽しんでいただける入場無料のコンサートです。出演するアーティストは毎回変わるので、文化財団のホームページでご確認ください。会場は文化フォーラム春日井・交流アトリウムです。

2021.11.13(土) 14:00～  
2021.12.18(土) 14:00～  
※2021.9.11(土)の〈振替公演〉



親子のための  
はじめての音楽会

「アイネクライネナハトムジーク」(モーツァルト)、「アンパンマンのマーチ」や童謡など、音楽の楽しさあふれる多彩なプログラムをお届けします。

2022.1.20(木)  
①10:00～②11:30～ 入場無料  
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール  
[出演] 林里紗(フルート)、百瀬 愛莉(ピアノ)、弓立 翔哉(パーカッション)  
※2021.9.17(金)の〈振替公演〉



2021年度  
アトリウム音楽祭【春】  
出演団体募集中!!

文化フォーラム春日井・交流アトリウムで年に2回行われる音楽の祭典。【秋】開催が、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったため、【春】に日程を追加して開催します。

[申込締切] 2021.11.14(日)  
[抽選会] 2021.11.27(土)10:00～  
[開催日時]  
2022.2.26(土)〈追加日程〉  
2022.3.12(土)、13(日)



©AAMIR KHAN PRODUCTIONS PRIVATE LIMITED 2017

かすがい日曜シネマ  
シークレット・スーパースター

幼い頃から歌うのが大好きな14歳の少女インシア。父親に歌を禁じられる中、顔を隠して弾き語り動画をYouTubeにアップすると、歌声は大人気。やや落ち目の音楽プロデューサーとの偶然の出会いが人生を大きく変えますが、その矢先…。笑いと涙のサクセスストーリーです。

2021.11.28(日)  
①10:15～ ②13:45～  
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール  
※2021.9.12(日)の〈振替上映〉



©2018 JERICO - TF1 DROITS AUDIOVISUELS - TF1 FILMS PRODUCTION - NEXUS FACTORY - UMEDIA

かすがい日曜シネマ  
家なき子 希望の歌声(吹き替え版)

過去に何度も映画やアニメになった、「家なき子」の完全実写映画。さまざまな出会いや困難が渦巻く冒険の果てに、少年レミを待ち受ける運命とは……? 時代を超えて世界中で愛される不朽の名作をぜひご覧ください。

2021.11.14(日) ①10:15～ ②13:30～  
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール  
2021.12.19(日) 13:30～  
@春日井市東部市民センター  
※2021.9.26(日)の〈振替上映〉

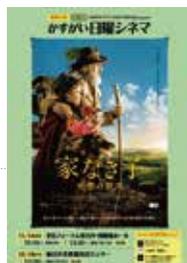
読者アンケート

今回の「広報誌FORUM PRESS」はいかがでしたか? 感想やご意見をお寄せください。回答はQRコードから。抽選でプレゼントもお届けします。回答の締め切り:2021.12.4(土)



今回のプレゼント

かすがい日曜シネマ「家なき子 希望の歌声」(12/19(日)13:30～@春日井市東部市民センター)のチケットを2組4名様にプレゼントします! プレゼント不要の方も、ご回答いただけるようになっております。



編集後記

今号は、緊急事態宣言下での取材となりました。みなさん、活動が思うに任せなくても、「今だからこそ」と、ひたすら前向きで意欲的な方ばかり。取材を終えると、パワーまでもらった気がして、「20年ぶりに再開したピアノ、頑張ろ!」と鼻息荒く帰りました。(三宅)

公演レポート

朗読劇

この子たちの夏

1945・

ヒロシマ ナガサキ

2021年8月29日(日)

@春日井市民会館



今回の担当レポーター  
みと 満寿美

市民レポーターが  
かすがい市民文化財団の  
アレコレを紹介!

REPORT NUMBER 424



他のレポートは  
コチラ!

8月に想う

何気ない朝の様子が、一瞬のうちに地獄絵図になります。「みず、みず」と倒れていく人、皮膚がだらりとぶら下がる人、その後の白血病。朗読劇は、映像がないからこそ、言葉が胸に迫るのだと知りました。そうそうたる名女優6人の声の表情は素晴らしい。次々読まれる母と子の手記が、聴く側には映像として迫ってきます。春日井市の中高生7人も存在感がありました。戦争を実際に体験した人は少なく、私たちが皮膚感覚で感じることは難しいです。だから、声高に戦争反対を訴えるのではなく、普通の生活を送っていた人々の言葉が語りかける朗読劇の中で戦争の残酷さを疑似体験することは、戦争を風化させない良い方法だと思いました。「八月」という季語は、終戦や原爆を表し、生き死にを彷彿とさせる重みを持っているそうです。平凡でほっこりした平和がいままで続いてほしい。だから、8月くらい戦争や原爆にしっかりと向き合いたいと思います。

この子たちの夏 舞台担当

森田 完幸

もりた ひろゆき



よもやまばなし

6人の女優さんと同じ舞台上に立つ、中高生の舞台出入りや館内誘導をサポートしました。みなさん違う学校に通う演劇部の7人ですが、マスクや距離を保つなどの感染対策をしながらも楽屋は楽しげで、まるで教室のよう。しかし、リハーサルで雰囲気は一変。見守るこちらが手汗をかく緊張感の中で、舞台監督の指示や立ち位置など、完璧にこなしていました。度胸の良さとおソフの切り替えは、さすが演劇部員!もうひとつの「この子たちの夏」を見た気がしました。



特別な道具や  
楽器がなくても、  
声を出せば  
“合唱”になる

あの人と  
春日井と

## 春日井児童合唱団

みんなで歌うと、  
声も心もギュッと一体になるね

FORUM PRESSの表紙の撮影のため、春日井児童合唱団の子どもたちに、練習場近くの公園に任意で集まってもらった。小学5年生以上のシニアクラスから29人。児童合唱団の先生や保護者、公園を利用している方にもご協力いただいた。「30分だけ」「ディスタンスをとって」を合言葉に撮影開始。最初はレンズ越しにぎくしゃくしていた子どもたちも、歌を歌い始めたならノッてきた。「外で歌うのって、気持ちいいね」「口ってこんなに大きく開くんだね」「隣の人と距離はあったけど、久しぶりにマスクをとって歌ったら、みんなの声がいつもよりたくさん聞こえてきた。めっちゃ楽しいね」「友達の歌う笑顔が久しぶりに見れて、嬉しかった!!」撮影後、子どもたちはこんな風に話してくれた。

春日井児童合唱団は1990年に創設された。今年で32年。現在まで831人が在籍し、今はシニア37人、ジュニア(小学1〜4年)17人が毎週練習している。「子どもたちも忙しくなってきた、人数は減りつつあるのが現状です。でも一度入団すると、みんな辞めないし、出席率もいいんです」と話すのは、設立3年目から関わってきた奥村先生。その訳はお母さんたちが教えてくれた。「違う学年のお姉さんから話しかけられるのが嬉しいみたい。自分の学校以外の友達も増えるし、世界が広がるんじゃないか」「ここに集まる子は、みんな歌が好き。それを馬鹿にする子は一人もない。楽しい気持ちを安心して共有できるから、素の自分が出せるんです。ずっと続けたら、子どもが言うんですよ」

## “憧れ”は 人を育てる

自身も合唱団の卒業生で、今は事務の裏方として走り回る石黒さんはこう話す。「子どもたちは、自分だけがうまく歌えば良いのではないことに気付き、一つのものを作り上げることの難しさを実感していきま

す。周りの声と自分の声の調和を意識することで、協調性や相手を思いやる気持ち自然と芽生えるんです。彼女らの純粋な気持ちは歌声に出ます。本番では『うまく歌うぞ』ではなく、ひたすら『合わせるぞ』と子どもたちは思っているんですよ」

しかし、コロナ禍で本番は激減した。「入団以来、一度も本番を経験していない子もいます。だから、今度のクリスマスコンサートはなんとしてもやりたいんです」と、先生方は口々に言う。

あるお母さんは、こう話してくれました。「一人の子どもがステージに立って歌う。それだけでも凄いことなのに、

## 合唱の喜びを もう一度

「歌うと気持ちがいい。仲間と歌を重ねるともっと楽しい」そう話す子どもたちも、9月末までは緊急事態宣言で練習ができなかった。10月に入り、やっと再スタート。そんな折に、合唱団の先生たちに今回の取材を申し入れた。最初に言われたのは「コロナ禍で合唱のイメージは悪くなった。なのに、今、児童合唱団を取材するのは何故?」という一言だった。でも「今だからこそ」だと思って依頼したのだ。

マスクをして歌うなんて考えもし

なかった、約2年前のクリスマスコンサート。あの時のことを思い出しては、改めて尊い瞬間だったと感じ続けてきた。そしてコロナ禍の今、様々な対策を行いながら練習してきた子どもたちの、背中を見守り、応援したい。そして何より、子どもたちの「好き」な歌が聴きたい。

取材の帰路「あなたも今度一緒に歌いましょうね」と歌唱指導の稲田先生が声をかけてくれた。ここは誰にでも門戸が開かれている。



## コラム

春日井児童合唱団と春日井と  
「昔から変わらぬ  
先生たち」

社会人になって十数年ぶりに団に戻ってきたとき、先生方は私の名前を覚えていてくれて驚きました。800人以上いる中の一人ですよ。ずっと待っていてくれたような気がして、ほっとしました。先生方の温かく楽しい雰囲気

が宝物です。(事務、0 B 石黒恵さん談)



2000.3.11撮影

春日井児童合唱団 コンサートのお知らせ

2021.12.25(土) 16:00~

とっておきの  
クリスマスコンサート2021

@文化フォーラム春日井・交流アトリウム

入場無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、入場を制限する場合があります。

## チケット予約・購入

3つの方法が選べます



窓口

文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ

(休館日を除く、9:30~17:15)

春日井市東部市民センター2階・事務室

(12/29~1/3を除く、9:30~12:00、13:00~17:00)



電話

0568-85-6868 9:00~21:30

友の会PiPi専用

0568-85-6078 9:00~17:00



WEB パソコンやスマホから、  
かんたんアクセス

予約

[www.kasugai-bunka.jp](http://www.kasugai-bunka.jp)

にアクセス。

※事前のWeb会員登録(無料)が必要です。

※PiPi会員はIDとパスワードでログインできます。

支払

- 文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ
- 春日井市東部市民センター2階・事務室
- セブン-イレブン(※手数料あり)
- クレジットカード決済

発券

- 文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ
- 春日井市東部市民センター2階・事務室
- セブン-イレブン(※手数料あり)
- 配送(※手数料あり)

## 学生の特券

厳選された幅広いジャンルの公演や展覧会を、  
小中高生に低価格で楽しんでいただけるサポ-  
ト制度。詳細は文化財団のホームページへ。



## 文化フォーラム春日井 春日井市民会館

公益財団法人かすがい市民文化財団

TEL:0568-85-6868

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44

## FOLLOW US

かすがい市民文化財団の公式アカウントです。



@kasugai\_bunka



@477kdncp

[休館日]

月曜日(祝休日の場合は翌平日)

12/29~1/3

[かすがい市民文化財団HP]

[www.kasugai-bunka.jp](http://www.kasugai-bunka.jp)



## ACCESS 交通のご案内

JR中央本線「春日井駅」北口より

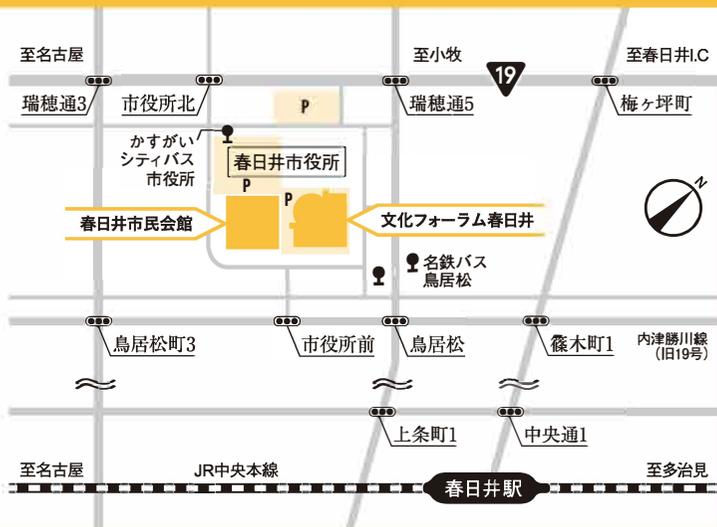
- ・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
- ・徒歩20分
- ・無料レンタサイクル5分(日・祝休み)

かすがいシティバスでお越しの方

- ・「市役所」下車すぐ

駐車場は混雑が予想されます。

なるべく公共交通機関や  
乗合せをご利用ください。



新型コロナウイルス感染症の感染状況によって  
イベント内容が変更になる場合があります。

最新情報はかすがい市民文化財団のホームページでご確認ください。



公益財団法人

かすがい市民文化財団